

環境調査結果のお知らせ

令和8年8月12日10時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で1 cell/mL確認されました。
湾内全域の表層における水温が29℃を超えていますので、十分注意してください。
海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	シャットネラ 属	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)		
A ガラク (2.7m) 【11:25】	0	29.2	33.7	7.5	0	8,900
	2	28.9	33.7	7.3	0	9,900
	5	28.7	33.7	6.8	0	10,400
	10	28.5	33.7	5.8	0	4,600
	底層 13.5	28.4	33.8	5.8	-	-
B 勢井 (2.2m) 【11:41】	0	29.1	33.7	7.4	0	8,200
	2	29.0	33.7	7.4	0	12,100
	5	28.7	33.7	6.9	0	8,500
	10	28.6	33.7	6.0	0	11,300
	底層 17.5	28.3	33.7	5.2	-	-
C 馬の背 (2.4m) 【11:49】	0	29.5	33.7	8.1	0	11,200
	2	29.3	33.7	8.2	0	13,400
	5	29.0	33.7	8.0	0	18,200
	10	28.6	33.7	5.7	0	15,400
	底層 21	27.9	33.8	4.7	-	-
D 大室戸 (2.6m) 【10:52】	0	29.3	33.1	7.8	0	18,000
	2	29.0	33.7	7.6	0	13,300
	5	28.8	33.7	6.5	0	10,100
	10	28.7	33.7	6.0	0	12,800
	底層 19.5	28.1	33.8	5.4	-	-
E 白浜 (2.6m) 【11:07】	0	29.1	33.7	7.6	0	-
	2	29.0	33.6	7.8	0	-
	5	28.8	33.7	7.0	1	-
	10	28.6	33.7	6.2	0	-
	底層 15	28.6	33.7	5.9	-	-
F 湾奥ブイ (3.4m) 【10:45】	0	29.4	33.8	7.8	0	8,800
	2	29.1	33.6	7.9	0	4,500
	5	28.8	33.6	7.6	0	11,400
	10	28.6	33.6	6.0	0	14,400
	底層 15.5	28.3	33.7	4.9	-	-
G 大谷漁港内 (3.2m) 【12:07】	0	29.5	33.6	7.8	0	-
	2	29.2	33.6	7.6	0	-
	5	28.8	33.6	7.2	0	-
	底層 8	28.6	33.6	6.9	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				野見湾
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: ガラク
- B: 勢井
- C: 馬の背
- D: 大室戸
- E: 白浜
- F: 湾奥ブイ
- G: 大谷漁港内

シャットネラ属
最大細胞密度



珪藻
最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0
×

1~9
●

10
○

100
○

1,000
○

10,000
○

100,000
○

300,000
○

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。
基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

